





ジーラスタボディーポッド®の適正使用に関して

ジーラスタは②種類あります

	皮下注「シリンジ」	皮下注「ボディーポッド」
製剤		
適応	<ul style="list-style-type: none"> がん化学療法による発熱性好中球減少症の発症抑制 同種末梢血幹細胞移植のための造血幹細胞の末梢血中への動員 	<ul style="list-style-type: none"> がん化学療法による発熱性好中球減少症の発症抑制
オーダー時の注意点	<p>化学療法の翌日以降</p> <p>がん化学療法剤の投与開始10日前から投与終了後24時間以内に本剤を投与した場合の安全性は確立していない</p>	<p>化学療法と同日</p> <p>がん化学療法剤の投与開始10日前から投与終了後24時間以内に本剤を投与した場合の安全性は確立していない</p>
投与方法	<p>病院で医療者が皮下注する</p>	<p>病院で腹部にデバイスを取り付けた約27時間後に自動皮下注入される</p>

ボディーポッド使用時に注意いただきたいこと

- ★ **使用患者さんの適格性を十分にご検討ください**
 - ボディーポッドはジーラスタ投与のための**来院を省略**できる一方、入浴不可、患者自身での動作確認、デバイス取り外しなど**管理上の注意点**があります。
- ★ **使用同日に生食シリンジ10mL 1本の注射オーダーが必要です(プライミング用)**
- ★ **患者さんよりトラブル発生の連絡があれば、別紙院内フローを参照ください***
 - トラブルでボディーポッドによるジーラスタ投与ができなかった場合、**来院、シリンジ製剤の投与**が必要になることがあります。
 - 患者さんよりトラブルなどの問い合わせがあった場合、医療費関連でデバイスや使用状況の検証が必要になるため、当時の状況など**詳細なカルテ記載**をお願いします。

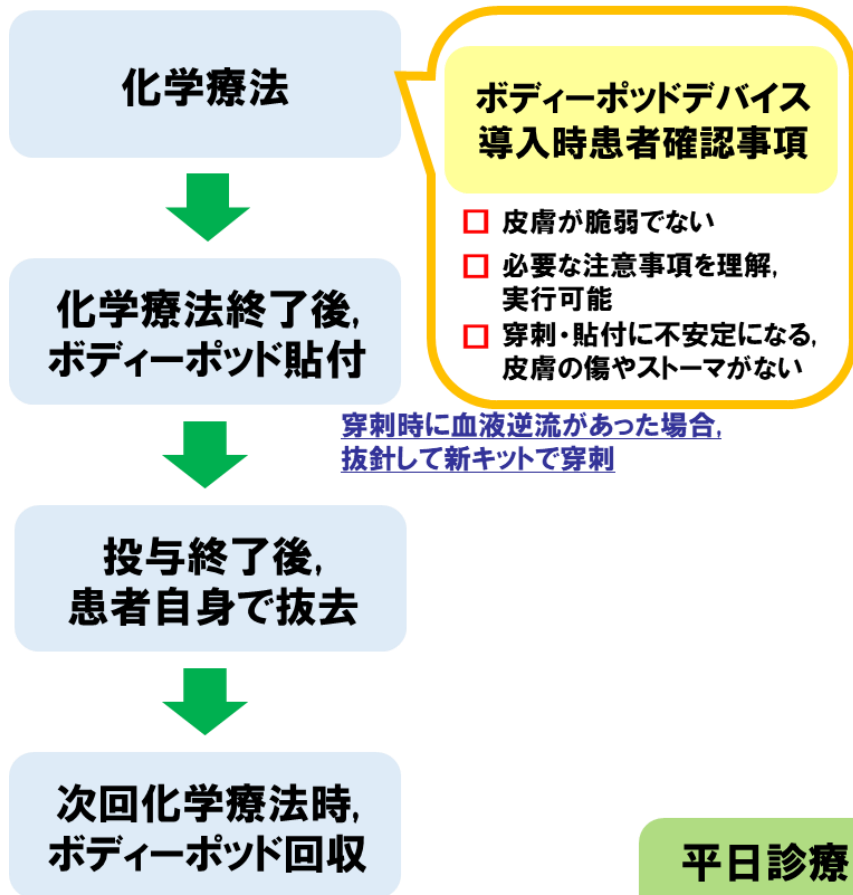
※ 電子カルテ内サイボウズ → ファイル管理 → 外来化学療法センター → 副作用対策
総合がんセンターHPでも確認できます(右記二次元コード)



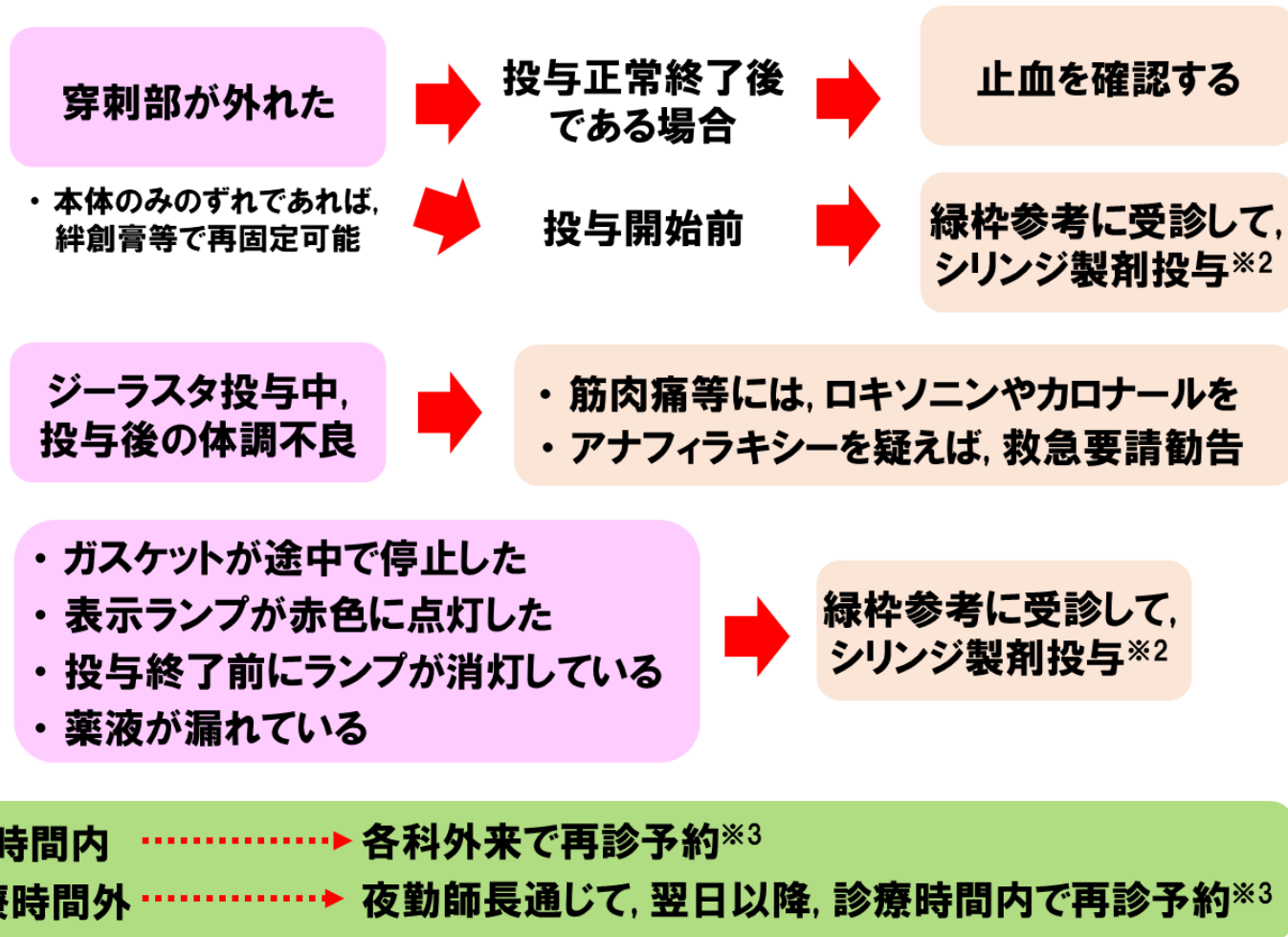
富山大学附属病院 ジーラスタボディーポッド運用フロー

Ver. 2023/02

通常フロー



自宅でのトラブル発生時※1



※1) 機器に関するトラブルの場合、トラブル内容をカルテに記載、ボディーポッドを患者から回収し、衛生面に配慮した上で医薬品情報室まで持参する。

※2) 上記トラブルの場合、薬液は基本的に注入されていない可能性が高いが、シリンジ製剤の投与有無は、あくまで医師の指示に従う。

※3) シリンジ製剤投与の可能性が高いので、パンフレット記載の投与予定時間以降かつ次回の化学療法まで10日間は空くように再診予約をする。